

本年度の重点	1	向上心を引き出す授業の創造
目標（評価規準）	自分の考えを持ち、いきいきと表現する児童の育成	
重点に係る現状 設定理由	基礎基本の定着と理解力・表現力・思考力の育成は依然として課題である。学校研究・指導の工夫改善に取り組むことで授業力の向上を図り、「わかる・できる」授業を実践するとともに、全体を見渡した学習支援体制を充実させることで児童自ら学ぶ力の育成を目指したい。	

評価資料	評 価
教職員アンケート結果 （具体的方策ごと）	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にプラス評価が多い。 ・学びのユニバーサルデザインを意識して、授業づくりに取り組んだ。 ・研究授業を中心に、授業力の向上を目指して校内研究に取り組んだ。 ・教室環境を整え、誰もが参加しやすい授業づくりに取り組んだ。 ・基礎基本の定着を図る指導の工夫に取り組んだ。
各アンケート等の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の多くは、「学習がわかる」「いろいろな体験や考える時間を保障してくれる」「いろいろと工夫して教えてくれる」と全体的にプラス評価である。 ・保護者の多くは、「基礎基本の定着を図る工夫を学校全体で取り組んでいること」について理解を示している。 ・家庭での学習や読書の定着には、課題が残る。
自己評価結果 （見解と改善方策）	<p>自己評価の結果は、概ね良好と言える。</p> <p>「いきいきと学び合う子どもの姿をめざして」というテーマのもと、ユニバーサルデザインを取り入れた授業研究に取り組んできた。今年度も「外国語活動」を中心にコミュニケーション能力の育成を視点に入れた研究を推進してきた。</p> <p>さらに教育活動の充実を図るため、次のことに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教員の指導力向上、研究・研修の充実 ○指導の工夫改善の継続的な取り組み ○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの推進 ○家庭連携、学習習慣の育成
学校関係者評価結果	<p>学校関係者評価の結果は、概ね良好である。</p> <p>ユニバーサルデザインを意識しての授業づくり、基礎基本の定着を意識しての授業づくりなどが評価できる。家庭学習においても、学年に応じた対応が取られていて学校側の工夫が評価できる。今後も、家庭学習の啓発に努めてほしい。</p>
最終改善方策	<p>今後もさらに「確かな学力」の定着をめざし、教育活動の充実を図るため、次のことを中心に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業実践を柱とした学校研究を推進することで、指導力の向上を図る。 ○指導法改善による指導の工夫とともに、個に応じた学習支援体制を整備する。 ○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりに取り組む。 ○家庭と連携し、家庭学習、読書習慣の充実に努める。

本年度の重点に対する評価

本年度の重点	2	人権感覚豊かな学級の創造
目標（評価規準）	認め合い、高めあう児童の育成	
重点に係る現状 設定理由	集団生活において他者とかかわることが苦手な児童も見られる。日常的な様々な場面において、自他を理解し思いやりの心を持って他者に接することのできる「豊かな心」の育成を目指したい。また、「学校いじめ防止基本方針」に則り組織的な支援体制の充実を図る。	

評価資料	評 価
教職員アンケート結果 （具体的方策ごと）	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にプラス評価が多い。 ・学級では、「個々の考えが尊重され高め合う関係になっている」「自分の思いを自由に表現している」「トラブルに対して互いに注意し合うことができる」について一部マイナス評価がある。 ・日常的に児童理解に努め、休み時間や放課後の関わりについても努力はしているものの、多忙化のため十分ではない部分もある。
各アンケート等の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の多くは、「学校はたのしい」「友達と仲良くしている」と感じ、学校が安心でたのしい場所となっている。 ・保護者の多くは、学校が「児童がたのしく学校生活が送れるよう努力していること」に理解を示している。 ・「児童一人ひとりに対する適切な指導」については、一部マイナス評価があった。
自己評価結果 （見解と改善方策）	<p>自己評価の結果は、概ね良好と言える。</p> <p>人権感覚や道徳心向上の指導・支援への努力に対して一定の評価があるものの、より適切な指導を望む声もある。</p> <p>人間関係の醸成・規範意識の向上を図り豊かな心を育てるために、次のような方策が必要であると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童理解の充実、日常的な指導・支援 ○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級づくり・学校づくりの推進 ○異学年活動、体験的活動の充実
学校関係者評価結果	<p>学校関係者評価の結果は、概ね良好である。</p> <p>多忙状況の中で、生活アンケートの実施など丁寧な取り組みが評価できる。個に応じた指導・支援についてのマイナス評価については、ごくわずかなものであり、学校だけの問題という捉えではなく、保護者・地域と連携しての対応が大切である。</p>
最終改善方策	<p>今後もさらに「豊かな心」の育成をめざし、学校生活の充実を図るため、次の3点を中心に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童指導において、学校・家庭との共通理解のもと、組織的な支援体制を中心にした対応に努める。 ○配慮を要する児童を含めた全体が安定するよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級づくり・授業づくりに努める。 ○児童自らが人権意識、規範意識、道徳心を育む機会の充実を図る。

本年度の重点に対する評価

本年度の重点	3	家庭・地域との連携の推進
目標（評価規準）	心身ともに健康な児童の育成	
重点に係る現状 設定理由	心身ともに健康な児童の育成には、安心して過ごせる学校環境と豊かな教育活動の展開が望まれる。様々な方法で学校の状況を情報提供し、家庭・地域とともに子どもを育て、学校を作っていく連携の充実を目指したい。	

評価資料	評 価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にプラス評価である。 ・学校通信・学級通信等を通じて、保護者や地域に学校についての理解を深めてもらうための努力をした。 ・児童の様子について職員間および家庭との情報交換を密にし、日常的に連携を図りながら児童指導にあたることができた。 ・保護者や地域の理解と協力を得て、地域学習等の取り組みの充実が図れた。
各アンケート等の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学校生活に関心を持ち、保護者会や学校行事に参加・協力しようという保護者の意識は高い。 ・保護者の多くは、「児童が安全に過ごせる環境整備」「各種通信による情報の発信」「連絡対応や相談活動」「保護者や地域との連携」についてプラスに評価している。 ・PTA活動・読み聞かせボランティア・図書ボランティア・見守り隊等、家庭・地域と連携した活動の取り組みがあった。
自己評価結果 (見解と改善方策)	<p>自己評価の結果は、概ね良好と言える。</p> <p>保護者・地域との連携により、効果的な教育活動を推進することができた。</p> <p>積極的な情報提供と学校公開の設定、地域教育力の活用は、有意義な結果となった。</p> <p>さらに「開かれた学校」づくりへの取り組みを継続発展させていくために、次のことに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学級通信・学校通信・保健だより・地域だよりの充実 ○保護者・地域との連携、安心・安全な環境づくりの推進 ○地域教育力の積極的な活用
学校関係者評価結果	<p>学校関係者評価の結果は、概ね良好である。</p> <p>各種通信において学校の様子を発信し、学校理解につなげていることが評価できる。家庭・地域と連携した児童の安心・安全を確保する取り組みも評価できる。</p>
最終改善方策	<p>今後もさらに「開かれた学校」づくりをめざし、地域連携を継続発展させるため、次の3点を中心に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種通信を充実させ、保護者・地域の理解・協力が得られるように努める。 ○保護者・地域と連携し、安心・安全な教育環境づくりの推進を図る。 ○地域と連携し、地域教材を活かした学習の充実を図る。